

にのみや学園「小中学校児童生徒交流会」

にのみや学園のプロジェクトとして年3回行われた「小中学校児童生徒交流会」。このプロジェクトは、小学校高学年の子どもたちが中学校の授業を参観したり、部活動を見学・体験したりすることで、中学校へのイメージをもち、これまで以上に安心感をもって中学校に進学することをねらいとしています。

1回目(9月27日)は、文化祭の準備としてクラスごとにステンドグラスを制作している様子や各教科の授業の様子を参観した後、生徒会による中学校の生活や中学生の休日の過ごし方などについて説明を聞きました。最後に、部活動において懸命に練習に励んだり、作業に集中して取り組んだりする中学生の姿を見学しました。1回目の交流会を通して、まずは、授業や部活動における中学生の様子を知ることができたようです。

2回目(10月27日)は、中学3年生が総合的な学習の時間で取り組んだ内容について発表の様子を参観しました。中学校の学習内容にふれたり、授業への見通しを持ったり、また発表内容を中学生と一緒に考えたりと、中学校の授業に対するイメージを少なからずもつことができたようです。



そして3回目(2月21日)は、部活動の体験でした。はじめは緊張した面持ちで体験に臨んでいた小学生ですが、中学生に、ていねいに教えてもらううちに、時おり笑顔を見せ、楽しそうに取り組む姿を見せるようになりました。

3回の交流会を通して、授業や部活動へのイメージをもち、中学校への希望や期待をふくらませて入学式を迎えることを望んでいます。



「学び合い」「話し合い」を大切にした学習

今年度の4月にスタートした施設分離型小中一貫教育校「にのみや学園」では、9年間を見通し、小学校3校、中学校2校で共通性と一貫性をもった教育を進めています。その基盤となる取り組みが「学び合いを大切にした誰一人取り残されない学級づくり」と「話し合い活動を中心とした協働的な授業づくり」です。

その取り組みに迫るための活動例を2点お伝えします。

1つは、ノートやワークシートを使っての話し合い活動です。まず、課題に対する自分の考えを記した後、席が隣の友達と、近い席で作られたグループ内の友達と、また自分の席を離れていろいろな友達と、といったように、様々な形で意見交換を行います。時には質問をはさみながらより深く友達の考えを知ろうとします。このように、友達の考えを真剣に受け止めることによって、もう一度自分の考えを見つめ直し、その考えを広げたり、深めたりすることができます。その後、全体の場でそれぞれの考えを共有し、つけ足しをしたり、違う考えを述べたり、質問をしたりしてさらに深めていきます。



もう1つは、ICT機器を活用した意見交換です。まず、自分のタブレット端末に考えやアイデアを入力します。悩んだ際には、友達の画面を見ながら相手の考えにふれたり、質問をしたりして自分の考えを確立させます。この学習スタイルにおいても、タブレット端末に映し出された友達の考えを知り、新たな視点を得たり、自分の考えを広げたり深めたりすることにつながります。そして、全体の場で共有し、それぞれ考えを述べ合いながらさらに深めていきます。また、学習内容によっては、タブレット端末の画面内容を友達と共有し、それぞれ考えやアイデアを入力し合いながら、話し合いを通して一つのものを作り上げる学習も行っています。

感想等はこちらのフォームをお願いします。

にのみや学園通信 HP

<https://www.town.ninomiya.kanagawa.jp/0000000929.html>

